



なきごえ

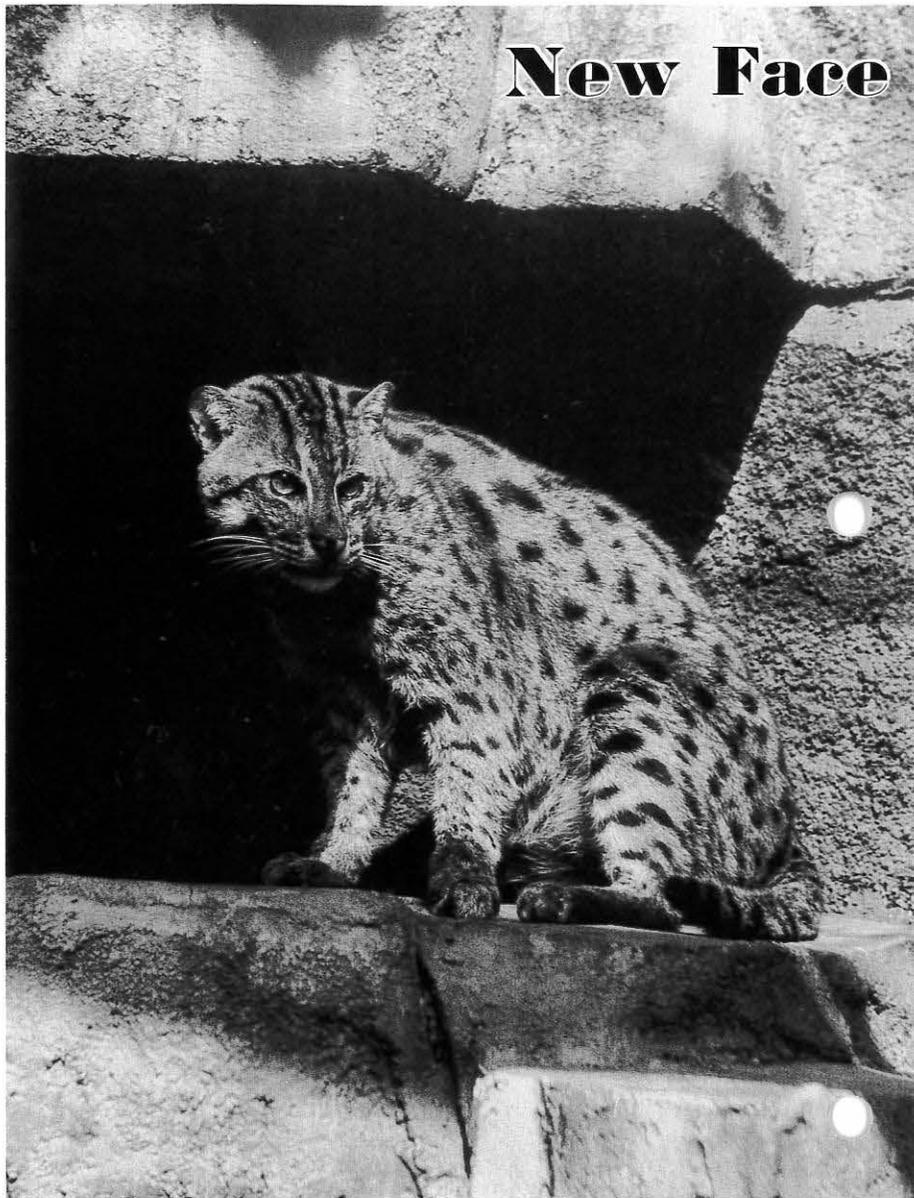


1996

12



大阪市
天王寺動物園協会



(撮影：堀 眞佐子)

- 2 — New Face (堀 眞佐子)
- 3 — 動物と私 熊との出会い (辻井 健一)
カバーウォッチングキンランチョウ (堀 眞佐子)
- 4 — 琵琶湖のさかな 今、昔 (前畑 政善)
- 6 — キーウイの飼育管理マニュアル
(トレイシー・ジョンソン 翻訳：早川 篤)
- 8 — グラフZOO 赤ちゃん大集合
(飼育課：森本委利、撮影：なきごえ編集委員)
- 10 — ケンちゃんの好きやねん動物園 (松葉 健)
- 11 — ZOO DIARY

カバーウォッチング

キンランチョウ
スズメ目 ハタオリドリ科
Euplectes orix franciscana
アフリカ西部および東北部を
原産とする、全長11~13cmの小
鳥です。雄の生殖羽の赤橙色は、
老鳥になるほど赤みが強くなり
ます。

(撮影：堀 眞佐子)

1996年 目次

通巻365~376号 第32巻

なきごえ376号付録
1~12は発行月

表 紙		撮影者名	
1 カヤネズミ	早川 篤	7 モモイロペリカン	森本 委利
2 ビクトリアコアラ	大野 尊信	8 クロサイ	高橋 雅之
3 ヒョウモンガメ	長瀬 健二郎	9 アルダブラゾウガメ	西村 慶太
4 アントンギルガエル	宮下 実	10 マレーグマ	萩原 祐二
5 シセンレッサーパンダ	小林 崇宏	11 チンパンジー	高見 一利
6 オウサマペンギン	堀内 智生	12 キンランチョウ	堀 眞佐子
動物と私		執筆者名	
1 浜 裕夫 DOGONの会		7 あずましょうじ ノアハートクラブ代表取締役	
2 薩摩 和男 美々卯社長		8 川本 典美 福祉施設職員	
3 保手 浜 孝 版画家		9 前田 憲男 動物写真家	
4 早川 啓一郎 陶器と版画のお店の主人		10 毛利 泰房 イラストレーター	
5 永地 博正 陶芸家		11 稜 いっぺい ネイチャーアーティスト	
6 内山 りゅう 生物写真家		12 辻井 健一 養蜂家	
New Face		撮影者名	
1 ホッキョクグマ“ネボスケ”来園!	森本 委利	7 ニートリアのお嫁さん	高橋 雅之
2 マレーグマのつがい来園	高見 一利	8 ブラジルバクの赤ちゃん今日は	中上 正幸
3 フサホロホロチョウ来園	榊原 安昭	9 フロリダアカハラガメ仲間入り	西村 慶太
4 フンボルトペンギンのヒナふ化	堀内 智生	10 ラマの新しい仲間が来園	萩原 祐二
5 ハイイロギツネです こんにちは	小林 崇宏	11 クロサイ誕生	高見 一利
6 グラントシマウマのメス、新顔登場!	森本 委利	12 スナドリネコ	堀 眞佐子
グラフZOO		撮影者名	
1 コアラがやって来た	大野 尊信 小林 崇宏	7 春の動物と花のフェスティバル'96	落合 正彦 中上 正幸
2 天王寺動物園のネズミの仲間	森本 委利	8 清楚な花たち	村上 勇一
3 アミメキリンの誕生から婿入りまで	小林 崇宏	9 比べてみよう動物の歯(哺乳類)	高橋 雅之
4 1年を迎えたアイファア	榊原 安昭 西村 慶太 中上 正幸	10 第22回サマースクール	落合 正彦
5 だれの蹄かな?	土谷 正道	11 クロサイのサトミ、アメリカへ嫁入り	西村 慶太 榊原 安昭
6 鳥のつばさ(翼)	大野 尊信	12 赤ちゃん大集合	森本 委利

特別寄稿

執筆者名

1 都市のネズミ	元木 貢	ねずみ駆除協議会
2 オオミズナギドリの保護飼育と放鳥	岸本 勉	日本野鳥の会鳥取県支部副支部長
3 キツネを追って	加納 康嗣	名張みどり生き物の会
4 日米動物園気質	川田 健	米国デトロイト動物園
5 オオサンショウウオの現状	大沼 弘一	(財)兵庫県自然保護協会神戸支部
6 ニッポンツキノワグマの保護に取り組む	板垣 悟	ツキノワグマと棲処の森を守る会
7 ゴローのその後	宗近 功	千葉市動物公園副園長
8 屋久島の「自然な」サルと「不自然な」サル	杉浦 秀樹	京都大学霊長類研究所 日本学術振興会特別研究員
9 ホトケドジョウ学事始	亀井 哲夫	雉魚寝館館主(追手門学院大手前高等学校教諭)
10 絶滅の危機に瀕するクマタカ	飯田 知彦	広島クマタカ生態研究会代表
11 小型サンショウウオとの共存	佐藤 孝則	天理大学おやさと研究所助教授
12 琵琶湖のさかな、今、昔	前畑 政善	滋賀県立琵琶湖博物館 主任学芸員

連載

執筆者名

キーパーズアイ		獣医室から	
4 ペンギンがツルッスリに御用心	早川 篤	2 ウンピョウの虫歯	高見 一利
8 ちょっと巣材を失敬 廃材利用	土谷 正道	6 トカゲとボディージャンパー	榊原 安昭
ケンちゃんの好きやねん動物園		11 体重の話	高見 一利
1 ネズミの仲間	松葉 健	動物なんでも相談室	
7 サル・ヒヒ舎紹介	松葉 健	3 カモ類の羽はとともよく水をはじますが、どうしてですか	榊原 安昭
12 動物病院	松葉 健	なぜシマウマは大きな赤ちゃんを産むのにライオンは小さな赤ちゃんを産むのですか	西村 慶太
		9 カメは水中でも息ができるのですか?	西村 慶太
		爬虫類のオスとメスはどうか区別するのですか?	
		5 公園・花だより ⑩	仁田原 洋
		10 公園・花だより ⑪	山元 貞幸

飼育観察記事

執筆者名

2 パタスザルの人工哺育について	松村 幸治	鈴木 克治
3 ドリルの人工哺育	鈴木 克治	
6 アカカンガルーの飼育管理を担当して思うこと	油家 謙二	

紀行・記録・その他

1 僕がネズミにこだわる理由	早川 篤
4 南アフリカとジンバブウェを訪ねて	長瀬 健二郎
5 動物園と遺伝子	高見 一利
7 動物飼育実習体験記	仲尾 有加
8 最近の保護動物あれこれ	森本 委利
9 ただ今開設中、ふれあいコーナー	芝野 利夫
10 第22回サマースクール	中上 正幸
11 シンガポール動物園訪問記	竹田 正人
12 キーウィの飼育管理マニュアル	トレーシー・ジョンソン、(訳) 早川 篤

ZOO DIARY

竹田 正人

||||| 動物と私 |||||

熊との出会い



辻井 健一さん (養蜂家)

私 は花を追い求めて兵庫県内と北海道を歩き、ミツバチを飼育して25年になります。仕事上、山の奥地に巣箱をもって行く関係から、当然といってよいほど最近では毎年どこかで熊に巣箱を壊され、巣箱の中のミツバチやハチミツを食われています。

熊 の被害は20年くらい前からになりますが、年々ひどくなり、又最近では山の奥地より人の住んでいる山里のほうが被害が多いほどです。

最初熊に巣箱を壊された頃は、すぐに熊の駆除を猟友会の方をお願いして、ミツバチの敵討のように思っていました。最近ではあまりの被害の多さに、熊も生きて行くのに必死なのだ、又、人間に自然の大切さについて警笛を鳴らしているのではないかと感じたりします。

それというも奥山の自然林の減少と熊の被害が増えたのが比例しているからです。一度自然林が失われて人工林に変わってしまうと〔杉・檜(兵庫)~エゾ松・トド松(北海道)〕森の動物の

食べ物がなくなってしまい元の場所には住めなくなり、その結果、人間の住んでいる山里に出てくるのではないかと考えられます。

最 近各地で熊の保護とか捕獲禁止と言われていますが、熊の住みかである森を保護しなければ、食べ物がいないために人間の住んでいる山里に出てきては人間に危害を加えたり、庭の柿、栗、また、ハチミツなどを食べたりします。そのため、有害駆除ということで猟友会の方により駆除が行なわれています。

私 達、養蜂家も自然林が、杉・檜・エゾ松・トド松などの人工林になれば、花の咲く樹木がなくなり、ミツバチがハチミツを集められなくなり生活が出来なくなってしまいます。その意味では熊も私達と同じで、自然林が人工林に変われば食べ物がなくなり、生活する場所がないのではとされます。自然林を守れば自然に熊の食べ物も守られて、その結果熊を守る事ができると思われれます。

今後は、私達、養蜂家も熊のミツバチへの危害については、電気柵によるミツバチの保護で対策を行い、熊との共存・共栄をはかつていき、自然林の復活をめざして行きたいと思っています。(つじいけんいち)

← スナドリネコ ネコ目
ネコ科

9月末にシンガポール動物園からやって来ました。英名をフィッシング・キャットといって、当園でも狩りの様子をご覧いただけます。根気よく観察して下さいね。



日本一大きな湖、琵琶湖。この湖はただ単に大きいばかりでなく、その生い立ちが400万年以上にもさかのぼり、世界でも有数の古さをもっています。また、その生い立ちと相まって、琵琶湖では古来さまざまな生物が生まれ、また消滅するという歴史を繰り返してきました。現在、琵琶湖とそのまわりには動物・植物あわせて1,000種以上の生物がすんでいると言われていて、この多くの生物のなかで、特に重要なのは固有種と呼ばれるこの湖だけにしかない生物です。すなわち、琵琶湖には、魚類や貝類をはじめ、甲殻類、水生植物など現在約50種類以上の固有種がすんでいます。しかもその数は、今後の研究の進展につれさらに増えそうな勢いがあります。国内でこれほど固有生物が豊かな水域は他に例がありません。琵琶湖は、275億トンという膨大な水をたたえており、その豊かな貯水量から、ともすれば近畿1,400万人の生活用水、工業用水としての側面のみが取り上げられがちです。しかし、この湖は、前述しましたように学術的にもきわめて貴重な湖なのです。この貴重な湖も、最近では外来の水草であるオオカナダモやコカナダモが異常繁殖し、従来は海でしか見られなかった赤潮が発生したり、小魚がひどく減ったり、カワウが異常なほどふえるなど、その生態系は大きく変化してきています。

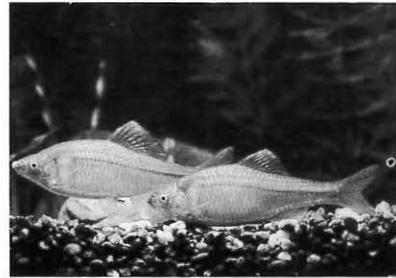
ここでは、特に魚に焦点をあて、私が琵琶湖にやってきてからこの20数年間に魚たちにどのような変化が起こったのかをみてみることにしましょう。

さて、私が琵琶湖にやってきた昭和50年ころには、春先になると湖岸にボテ(タナゴの仲間)やモツゴが文字どおり湧くように群がっていました。当時は、びんどうにサナギ粉を入れ、これらの小魚を毎日のように数百尾単位で採集し、水族館の魚ナマズやウナギなどの肉食魚へのえさにしていました。晩秋になって水温が下がってくるころには、イチモンジタナゴというボテが山のようにとれたものです。また、冬になると、オイカワやハスが寒さを避けてでしょうか、湖岸の深みで真っ黒なかたま

りになって濃密な群れをつくっていました。ですから、投網を一回打てばバケツに溢れんばかりにこれらの小魚がとれたものです。これらのことはわずか20年ほど前のことなのですが、今では夢のまた夢となってしまいました。思い返してみると、琵琶湖の魚たちのようすが変わり始めたのは、たしか昭和50~55年、そしてそれが急に変化したのは昭和60年に入ってからのことでした。

増えた魚・減った魚

ここ20年間で琵琶湖の魚類生態系は大きく様変わりしてしまいました。魚類のなかには琵琶湖から完全に姿を消してしまったと思われるものもでてきています。琵琶湖に昔からすんでいた魚—これを在来魚と言います—であるイチモンジタナゴ、カワバタモロコ、アユモドキと他から琵琶湖に入れられた魚—これを移入魚と言います—であるツチフキ、タイリクバラタナゴなどがそれ



琵琶湖博物館提供

イチモンジタナゴ：かつては琵琶湖でごく普通に見られたが、現在では絶滅に瀕している。これらの魚は氷山の一角に過ぎず、減少または激減した魚は数限りなくいます。湖国の名産である鮒寿司(ふなずし)の原料魚であるニゴロブナは、漁獲が少なくなったために価格が高騰しています。また、琵琶湖でもっともおいしい小魚と言われていたホンモロコは、数がいちじるしく減少し、かつて盛んに操業されていたモロコの地曳網は、それ

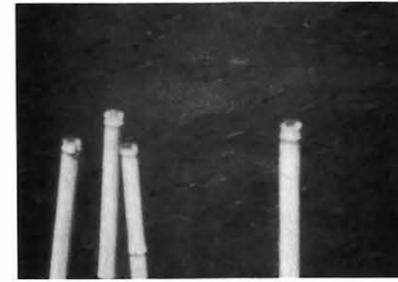


琵琶湖博物館提供

ホンモロコの地曳網：琵琶湖漁業の中心地のひとつである沖島では、かつて本漁業が盛んに行われていた。ホンモロコが激減した現在では、操業休止に追い込まれている。

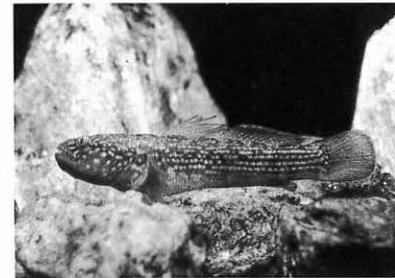
イサザもかつては考えられなかったほどに激減しています。一方、これらとは逆にふえた魚もいます。いずれも、もともと琵琶湖にいなかった移入種です。北アメリカ原産のブラックバスとブルーギル、ならびに国内からの移入種であるワカサギとヌマチチブなどがそれらです。ブラックバスは昭和60年代

初頭にもっとも多かったのですが、最近ではやや減少傾向にあるようです。ブルーギルはいかかわらず多くすんでいます。これはブルーギルが水草から水生昆虫、はては魚類の卵まで食べる



琵琶湖博物館提供

ブラックバスの群れ：昭和60年代初頭には、こうしたバスの群れが湖岸のあちこちに見られた。軟な食性を持っているからでしょう。ヌマチチブは1979年に琵琶湖ではじめて発見された魚ですが、またたく間に分布を広げ、現在では琵琶湖のいたるところにすみついています。この魚は、現在もお流入河川へと分布を拡大しつつあります。ヌマチチブについては、琵琶湖在来の同じくハゼ科の魚であるヨシノボリ類とのえさやすみかをめぐっての競争関係が気にかかります。ワカサギが琵琶湖に移入された歴史は古いのですが、なぜ最近になって急にふえたかについてはよくわかってい



琵琶湖博物館提供

新しい侵入魚、ヌマチチブ：琵琶湖には次々と新しい魚が侵入し、在来生態系を破壊していく。琵琶湖の水質、ひいてはそのえさとなる動物プランクトン相の変化が関与しているかもしれません。ワカサギについても、この魚とえさをめぐって競争関係にある(競合)と考えられる琵琶湖漁業の最重要魚であるアユとの関係が気になるところです。いずれにしても、ワカサギがふえた原因については、今後の調査が待たれます。

魚類が減った原因

ある魚—いや、魚に限らずともすべての生物にも当てはまりますが—が絶滅または減少する原因はきわめて明白です。すなわち、「子孫を—十分に—残せない」からなのです。子孫を残せない原因にはいろいろあります。列挙してみましょう。

- 1) 親魚が子孫を残せるほど十分にいない。
- 2) 産卵する場所がなくなる。
- 3) 仔稚魚から親魚までその魚の発育段階において、そのどこかの段階またはすべてですみかがなくなる。
- 4) 同じく、発育段階のどこかまたはすべてでえさがなくなる、などです。これらは単独で作用する場合もありま

すが、複合的に作用することもめずらしくありません。これらのことは、琵琶湖の魚についてもあてはまります。人間がこの地上に出現して以来、自然界にある生物を採取し、移殖し、環境を変えていくなかで生物が減少または絶滅してきたことは今では誰でも知っていることなのです。したがって、魚(生物)の減少は今にはじまったことではないのです。うがった見方をしますと、現在はそれが加速度的に進行しているだけということになります。人がふえれば、魚(生物)は減るのはこれまで当たり前のことであったのです。

よみがえれ！ 琵琶湖の魚たち

それでも、私たちは琵琶湖の魚がせめて20年前の状態に戻ってほしいと願っています。この願いは、かつて魚がたくさんいたことを知っている者の感傷からくるものかもしれませんが、あるいは、身のまわりから多くの生き物が姿を消していくなかで、何か言いえぬ不安を感じるころからくるものであるかもしれません。いや、おそらくはそれらすべてでしょう。

今日、魚類の絶滅や減少は、それが単に魚だけ、すなわち人間を蚊帳の外においたところの生物だけの問題ではなく、ほかならぬ私たち自身の問題だとおおくの人びとが知っています。私たちが琵琶湖の魚たちの動向を気にするのも、そうした立場からなのです。言い方をかえれば、私たちが琵琶湖の魚たちにかつてのようにたくさんいて欲しいと願うのは、ゆたかな自然のなかで過ごしていくことに大きな価値を見だしているからにほかならないでしょう。ふりかえって、世の多くのひとが身のまわりの自然になんら価値を見ださないというのであれば、琵琶湖も、そしてそこにすみ魚たちも消滅してよいといってもいいでしょう。(おそらく、そう考える人はいないと思います)。当然のことなのですが、このように考える背景には、私たち人間の存在、すなわち、私たちヒトという生き物が未来に向かって永劫に生き続けたいという願いがあります。そして、私たち人間が将来に向かって生き続けていくために、現在何よりも要求されているのが「価値観」の見直しでしょう。いいかえれば琵琶湖の岸辺が整然とコンクリートで固められ、きれいに芝生が植えられた状態をよしとするのか、柳の古木やヨシが雑然と茂った状態をよしとするのかという問題です。ともかく、私たちに残された時間はそんなに多くはありません。

(まえはた まさよし)

キーウイの飼育管理マニュアル

レインボー スプリングズ(ニュージーランド) キュレーター：トレイシー・ジョンソン

キーウイはニュージーランドでのみ生息する飛ぶことのできない走鳥の仲間です。日本では天王寺動物園だけが夜行性動物舎で展示しています。キーウイには3種あり、そのうち当園にはブラウンキーウイ(ニュージーランド北島にすむキタジマブラウンキーウイ)がいますが、さてどのように飼育されているのでしょうか。飼育するにあたりニュージーランドの飼育マニュアルを参考にしています。その内容を翻訳、紹介します。

(翻訳: 飼育課: 早川 篤)

1. 飼育作業

・飼育場の広さ

1つがい飼育するのに、50㎡は必要です。理想的には250㎡より広い飼育場があれば、鳥たちが干渉しあうことなく自然に餌を探す事ができる場所も確保できます。また、フンによる地面の汚染もされずにすみます。3羽以上を同じ場所で飼育することは、ストレスのため死亡することもあり避けるべきでしょう。時折同性の2羽のキーウイが同じ寝穴を使うことがあります。飼育場は、繁殖場・治療用・発情個体の隔離場などへ変更可能な状態に設計しなければなりません。

・飼育場

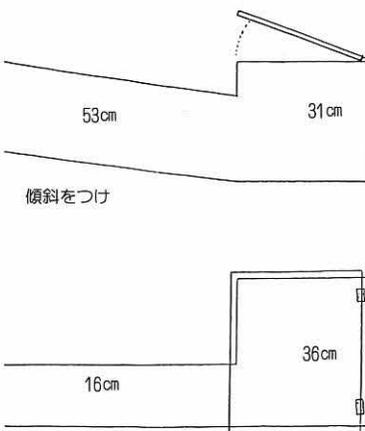
飼育場を仕切る場合のフェンスは目の細かいものは避けるべきでしょう。キーウイは仕切りに沿ってくちばしを動かしますから、引っかかりたり折れたりする原因になり死亡するケースもあるからです。また、隣の個体と網越しに闘争をしたりします。

・巣穴

自然のものは、鳥自身が掘った穴や木のうろ、腐った丸太の空洞を利用しています。

巣穴の入り口は、入り口付近の草で効果的に隠して見つけにくくする必要があります。

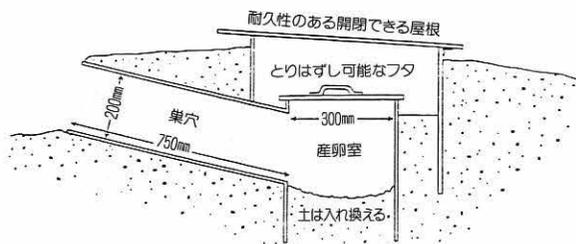
入り口の巣穴は、鳥をチェックしやすい



当園が参考とした室内用巣箱

形にします。形は2羽が一緒に入れる程度の広さの部屋とそこにつながる75cmほどの傾斜のあるトンネルと小さな入り口をもつ箱です。

野生では多数の巣穴を持っていて、汚れてくると他の場所へ移動して行きます。飼育下では定期的に清掃をしましょう。状態の良い巣穴は繁殖には絶対に必要です。湿気があり不潔になりがちな巣の中では、卵は清潔で乾燥させなければなりません。巣を持たず、野外で産卵する個体もいますが、これはめったにふ化しません。



屋外用人工巣箱

・植栽・土壌

地面は一般的に植栽できるくらいの深さが必要です。良い状態を保つため、土に草や腐葉土を混ぜたものを定期的にすき込みます。水はけはよくしなければなりません。土壌のpHは6~6.5の弱酸性になるようにします。

植栽は、低木とシダ類を植えます。生木を入れておく土や環境(光や風の状態)のよい指標となります。キーウイは絶えず根元周辺にくちばしを差し込みますから、根が傷みやすい植物は鉢に入れておくようにします。

日常作業をするとき、よく注意しなければならないことは、キーウイは、ゴム・コイン・石・くぎ・ネジ・ピンなどを飲み込むとされていることです。鋭利なものでは死ぬこともあります。変わった物は食べてしまいますから、造花なども破片を食べられないようにくちばしの届かないところに置きましょう。

・照明

キーウイは本能的に明るいのを嫌がりますが、夜の結構明るい状態の明るさには順応する個体もいます。

昼夜の照度の割合は、1:24~1:36にします。

・換気と温度

これは、おそらく夜行性動物舎において最も重要な要素でしょう。古くさく湿った空気は、植物

や鳥の健康を害します。涼しい温度では健康的で食欲も増します。しかし、21度を越えると大変不活発になります。また、水を撒いた後の湿気対策も重要です。

・灌水

キーウイはほこりや寒さ(12~16℃)には敏感です。乾燥するのを防ぐため、日に2~3回水を撒きます。できる限り自然環境に近い状態にすることが、鳥を行動的にする刺激になります。

・餌

主食はミミズだと信じられていますが、実はキーウイは雑食性です。ミミズ・シロアリ・クモ・コオロギ・セミの幼虫やイモムシなどの動物質と種子や繊維の多い草などの植物質のものが、胃の内容物から検分されています。

また、小石やジャリを摂取することも知られています。砂嚢の検分では、直径2~10mmの石が4~225個出てきています。

2. 健康管理

・体温と代謝

体温は日中は36.4~37.2℃、夜間は38.2~39.9℃(昼夜の差は1.76℃)

通常の代謝率は、同程度の体重の飛ぶ種の約60~65%です。ディバースはキーウイは原始的なものでも退化したものでもなく、ほ乳類的な特徴をもって二次的に進化したのだと結論しています。

・外部寄生虫

キーウイはダニと羽虫に寄生されます。それらが急に増えていたら注意しましょう。(例えばストレスを感じているとか)外部寄生虫はダニパウダーで簡単に退治できます。ただし、その製品が十分に保証されたものを使うよう注意してください。外部寄生虫の検査は定期的におこないます。

・内部寄生虫

内部寄生虫はサナダムシの数種類が知られています。キーウイは通常小さなサナダムシを持っていることが多いのですが、これは過密な状態で飼育しなければ深刻な問題ではありません。

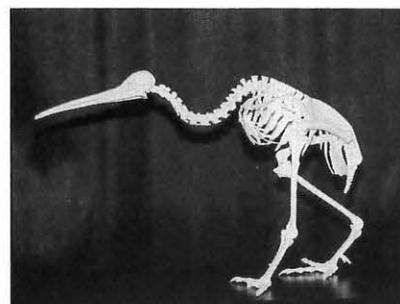
コクシジウムやアスペルギルス(真菌)には感染しやすいので検便による検査を年2回しましょう。若い個体はコクシジウムに感染しやすく、成鳥は感染しにくい。現在、いくつかの飼育場では若い個体は2週間おきに検査をしています。コクシジウムは経口投薬により治療できます。

他の内部寄生虫も経口投薬で調整できるので、少なくとも年2回は服用させましょう。投薬量は体重×0.6程度かもしくは多めにします。

・塵肺症

キーウイは塵肺症で死ぬことがあります。飼育係は、肺炎の兆候である口ばしからよだれ状の粘液が出ていないかどうかを発見し、早期に治療しましょう。抗生物質を経口注射で投与すれば治療できます。

・肥満
特にオスは、飼育下ではしばしば肥満になります。狭い飼育場にいるオスは、死ぬまで体重が増えていき



キーウイの骨格 翼の骨格は痕跡程度で背骨が目立つ

ます。ある肥満個体では突然何週間も食べず、痩せてしまってから再び食べ始めたことがありますので、各個体別の管理が大切です。

肥満個体は見るからにズングリしていますが、細い個体は、痩せているのではなく背骨のあたりが骨太い感じがします。肥満は繁殖にも影響します。オトロハンガ動物園などで、繁殖オスの体重をコントロールすることによって劇的な改善に成功しています。

キーウイの成鳥の平均体重は以下のとおりです。オス1.5~2.2kg メス2.0~3.0kg

・ストレス

とにかく静かにすることが大切です。騒音特に機械音を嫌います。人工餌を変えたり、作る人が変わったりすると食べなくなります。

キーウイはウロウロと歩き回るものなのですが、隠れてしまったり、他の個体に攻撃的になっていたりするようならばストレスが高まってきていると考えてください。このときはストレスを解消させるため良質な草とミミズを与え、自由に土を引っかきまわせるようにしてやります。また、ビタミンB不足になるとストレスを感じるようになります。皮膚炎により脚の鱗板が盛り上がり、不足している兆候で、死亡することもあります。いつまでもストレスが続く場合は、獣医師と相談してすみやかに措置しなければなりません。

・腹膜炎

飼育下では3才以上のメスの死亡原因として多くなっていく疾病です。メスの体内で卵が割れたり腐ったりした際に時に起こり、感染症をおこしたり、ついには死亡したりします。

・空気感染

その兆候は、目の粘膜や呼吸などに比較的簡単に現れます。抗生物質等を使った治療を受けましょう。

以上、ニュージーランドの飼育マニュアルより飼育関係のみを抜粋しました。ここに紹介できなかった内容で人工ふ化や卵についての興味深い内容も非常にたくさんありました。別の機会に紹介できればと考えています。

赤ちゃん大集合

今年もたくさんの動物たちが生まれました。その一部のかわいくて元気な赤ちゃんたちを写真でご紹介しましょう。

(飼育課・森本委員、撮影：なまこえ編集委員)



ビクトリアコアラ

4月19日生まれて、ほぼ生後6カ月の10月13日に、母親の袋から体全部を出しました。いま、母親から離乳食“パップ”をもらってユーカリの葉が食べられるよう準備中です。



カリフォルニアアシカ

七夕の7月7日に生まれました。当園ではアシカの出産は通常6月ですので、7月は珍しいといえます。子供の鳴き声は親とちがい大変おもしろいですよ。



ブラジルバク

6月14日生まれのおス。イノシシの瓜坊(うりぼう)にそっくりです。この縦すじ模様は半年ほどたつとじだいに消えていきます。



クロサイ

8月25日生まれのおメス。生まれて2カ月近くになって、屋外運動場に母親とともに出しました。いま元気いっぱい走り回っています。



フランソワルトン

8月5日生まれ。生まれたときは写真のように黄金色、なぜこうも両親と毛色がちがうのか。きれいだから大事にしてくれるかも。



ライオン

6月5日に生まれました。2カ月後、やっと屋外運動場に出し、一般公開を始めました。百獣の王という人もいますが、子供時代はなんて無邪気なんでしょう。



スナドリネコ

10月13日にかわいい赤ちゃんが2頭生まれました。この両親は9月にシンガポール動物園から来園し、早くもめでたく出産しました。

ちんちゃんの好きな動物園 まが 松葉 健



- 10/1. ヌートリアが5頭生まれました。
- 10月3日 クロサイの“サトミ”をアメリカ・テキサス州のカードウェル動物園に輸送するための檻をサイ舎に設置、数日間檻で給餌し檻に慣らすことにしました。
- 10/6. クロサイの“サトミ”を檻に収容しました。キジバトを1羽保護しました。
- 10/7. 午前11時にクロサイの“サトミ”を乗せたトラックが当園を出発しました。関西国際空港から成田経由でアメリカに向かいました。
- 9月に入園したグラントシマウマのオスの検疫とメス達との見合いが終わったので、同居を始めました。
- 9月に保護したキジバトが元気になったので自然復帰させました。
- 10/8. 9月にシンガポール動物園から来園したスナドリネコの検疫が終わったので、一般公開を始めました。
- 10/9. ホンドタヌキ1頭とキジバト1羽を保護しました。
- 10/12. ホンドタヌキを1頭保護しました。
- 10月13日 スナドリネコが2頭生まれました。先月末にシンガポール動物園から来園したばかりなので、現地で妊娠したようです。母親は新しい環境にもかかわらず落ち着いて赤ちゃんの面倒をみています。
- 10月14日 本日からチンパンジー・オランウータンの定期健康診断を始めました。毎休園日に1~2頭ずつ実施する予定で、本日はチンパンジーの雄“リッキー”の検診を行いました。
- 10/17. 気候が涼しくなってきたので、冷房室で展示していたオウサマペンギンとイワトビペンギン、マカロニペンギンを屋外展示場へ移動させました。
- 10/18. 9月に保護したホンドタヌキ1頭とゴイスギ1羽が元気になったので自然復帰さ



今月もおもしろ情報満載



- せました。また、イタチを1頭保護しました。
- 10/21. キビタキを1羽保護しました。
- 10/23. 一昨日保護したキビタキが元気になったので自然復帰させました。アカカンガルーのお腹の袋(育児嚢)が動いているのを確認しました。袋の中に赤ちゃんがいるようです。
- 10月24日 アミメキリンが1頭生まれました。性別はメスで、“ジャネット”と名付けました。母親の“サキコ”にとっては4回目の出産で、母仔ともに健康です。
- 10/25. オオハゲコウが角膜炎を起こしたので治療を始めました。
- 10/27. アオバズクを1羽保護しました。
- 10/28. シュバシコウ(ヨーロッパコウノトリ)1羽を長野市の茶臼山動物園に贈りました。
- 10月29日 レッサーパンダのメス1頭が来園しました。長野市の茶臼山動物園からブリーディングローン(繁殖目的の貸借)で借り受けたものです。動物病院で検疫を開始しました。
- 10/30. ブタオザルのオスが下痢をしたので治療を始めました。



■お知らせ■

- 「動物園裏側ウォッチング」
日時：12月15日(日) 午後1時~
場所：レクチャールーム

愛ある暮らし、応援します。

Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

動物園で暮らす様々な生き物達、自然の中ではどんな暮らしをしているのか？動物園での世話の仕方は？仲間？など、写真と精密イラストをまじえ紹介します。

＜暮らしとかいかたシリーズ＜既刊本＞＞
B5変型判・オールカラー

むしくらしかいかた

野山でみかける身近な昆虫たち
250種を紹介。

ちいさないきもの暮らしとかいかた

昆虫以外の小さな生き物を320
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。

☆ **ひかりのくに株式会社** 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表



マスタのポップコーン



〈営業品目〉 製造機械・保温機 他
生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

(株)増田食品 〒561 大阪府豊中市穂積1-10-30
TEL (06) 865-0165

新・きれいな色 FUJICOLOR SUPER G ACE 400



カメラの大林

桜橋本店 ☎341-8091
阪急三番街店 ☎372-5031

狼

その生態と歴史



平岩米吉著

ニホンオオカミの正史

【狼の真神】とあゆまれた古代から、狩猟と恐れられ、やがて絶滅していったニホンオオカミの生態と歴史を、数十年にわたって収集した正確な資料と、生産子の観をもとにまとめあげた。

ニホンオオカミの生態と歴史の集大成

狼 — その生態と歴史 —

平岩米吉[著] A5判 308頁 定価2,678円(税込)

ニホンオオカミは今もどこかで生きのびているのか——。狼と生活をともにした実体験を基盤に、数十年にわたり収集した正確な資料と生態学の眼をもって、ニホンオオカミの特徴や大きさ、性質などを分析。今も根強く残っている残存説を検証するとともに、絶滅へといたる歴史をも詳述する「ニホンオオカミの正史」。

① **築地書館** 〒104 東京都中央区築地2-10-12 TEL 03-3542-3731 FAX 03-3541-5799 振替 00110-5-19057
◎ご注文は、最寄りの書店または直接上記宛先まで。(直接郵送時の送料は一律400円です。)

新作
貸出用ビデオ「**楽しい天王寺動物園**」
19分(10本常備)

- 対象 / 保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間 / 10日間
- 貸出料 / 無料(但し郵送料510円は必要)
- 申込先 / 当協会まで手紙かハガキでお申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)
好評発売中 **¥800**(50度用)

天王寺動物園の本

入園の記念・手引に……



オールカラー
500円 園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

あぁ、男のやすらぎ。ジョージア。

ひと息入れよ。ジョージアで、

Enjoy **GEORGIA**

鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
 飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!

園内、主要動物舎30数カ所にあります

関西特機株式会社
 電話 06-762-2333
 1回 30円

動物園内での
お食事、
ご休憩は

動物園内.....
中央売店
 TEL 06-771-0973

お食事・飲み物・おみやげ 動物園内
南園売店 TEL 06-771-7110

LOTTE

みんな大好き

エアロのたま

〈チョコレート〉

〈ストロベリー〉



雪印
つぶよみ
フルーツ
ヨーグルト



●ライチミックス

●ストロベリー

●アップル

●ピーチ

●フルーツミックス

おいしさは、産地のよさです。

台湾のライチ、フィリピンのナタ・デ・ココト・パイナップル——●ライチミックス
 国産の女峰、オレゴンのトーテム、中南米のチャンドラー、季節の旬を追って——●ストロベリー
 日本の富士、中国・韓国の国光。それぞれおいしい季節の——●アップル
 桃といえば中国です。そして韓国。旬に一括収穫した白桃で——●ピーチ
 アプリコット、メロン、アップル、パイナップル、ミカン。果物狂の——●フルーツミックス

お待たせ
新発売

希望小売価格・税抜 **各100円**



◎園内3ヶ所(南園高架下・北園中央デッキ北側・北園高架下)に各種のりものがあります。

久竹娛樂株式会社
TEL(06)541-3938(代)



一日
愉快地
たのしめる

なきごえ 1996年12月10日発行(毎月10日発行)第32巻 第12号(通巻376号)

編集/大阪市天王寺動物園事務所

発行人/大阪市天王寺動物園協会 伊東重朗

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価150円(送料共) 1年継続(12部) 1,650円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 00930-2-37823

編集委員

樽本 勲/馬話好文/増野悦敏/中川哲男/吉本昌俊/長谷川敏昭/落合正彦/宮下 実/榎原安昭/森本委利/高橋雅之/市川久雄
 中上正幸/堀 眞佐子/萩原祐二/竹田正人/高見一利/大野尊信/野口秀高/早川 篤/村上勇一/西村慶太/山元貞幸